

まつかぜ

第28号 平成22年6月

発行 松風台自治会

編集 文化広報部



自治会館

提供：三輪 正彦さん

出でよ、レアーメタルの方々！

平成22年度自治会長にこの度就任いたしました中川です。私は自治会活動に携わるのは初めてでありまして全くの素人ですが、これからいろんな人達の知恵と力をお借りして1年間職務を全うしたいと思います。

松風台自治会の今抱えている一番の問題は、自治会役員を引き受けてくれる人が居ないという事ではないでしょうか。これは一つには、自治会構成員が高齢化してるということもありますが、むしろそれ以上に自治会活動に無関心の人が多い事に起因しているように感じます。

よく茅ヶ崎～松風台のバスに乗るとき、奥様方の会話をそれとなく聞いていますと「内の主人は定年後、家の中に閉じこもってテレビばかり見てて困るのよ」「内もそうなのよ」とこぼしている光景を見かけます。今は昔と違って60歳で定年を迎えてもまだまだ元気です。まだ体力も知力も衰えていない人が圧倒的に多いかと思います。こういう人たちが自治会活動に参加してくればまだまだ自治会も活性化するはずです。

しかし役員の仕事（特に会長、事務局長）は多忙を極め、其のことを良く知る人程活動に参加するのを避けたがります。それは当然のことかも知れませんが、だれが敢えて苦勞をしょい込みたい人がいんでしょうか？定年後はのんびり悠々自適に暮らしたい。今までさんざん会社で苦勞したのだからこれ以上の苦勞はもうごめんだと思うのも自然の心理かもしれません。しかし自治会活動に参加することは、いろんな人達との出会いがあり、今まで会社関係の人だけ、あるいは仕事関係の人だけの付き合いから広く横の繋がりが広がります。一説によれば、家に閉じこもりがちな人程認知症になりやすいと言われてます。ただし役員のワークロードは確かに高いので、これを少しでも緩和する必要があります。

今年は、持続可能な自治会活動という観点で、役員および班長の業務を少しでも減らすべく合理化つまり省力化、簡素化、分散化を目指していきます。また、高齢化に伴う問題、特に大災害時の避難能力の向上や一人暮らし高齢者の生きがい等に知恵を注ぐ必要があるかと思っています。

家の中に閉じこもっている有能な方々！奥様任せの自治会活動ではなく自分でも参加しませんか？班長会に出るだけでも視野が広がりますよ。また女性に囲まれた会議はホルモンや脳内物質を大いに分泌させ老化の防止に役立つ事うけあいます。全員参加型の自治会活動を目指しませんか？多くの有能な方々の参加を期待して止みません。

和が輪を広げる自治会を!!

この度、自治会の副会長を受け賜りました馬瀬功子です、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

振り返りますと、昭和50年当時は大半の方が30代で、児童数も350余名と市内で一番多い、大きな子ども会を抱え、活気満ち溢れる地域でした。現在は、二代目に引き継がれ、私達は若い方達と融合しながら、落ち着いた日々を送れています昨今です。それ故に終の住家として、どのように過ごせばいいのか、自治会活動を通して老若男女の皆様とご一緒に、暮らしやすい地域になりますように考え努力して行きたいと思ひます。

今年も恒例であります夏祭りを開催いたします。ぜひ会場にお出かけ下さいませ。夏の夜の思い出の1ページを残していただければ幸いです。

次に外部団体との関わりですが、その中の一つに湘北地区社会福祉協議会がございます。当自治会活動を通しまして、皆様が参加していただける団体の一つと思われます。相互の和が広がればと願っております。

気をかけて、声をかけ、心をかけられる自治会を会員の皆様と御一緒に活動出来ますように一年間御協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成22年度 副会長

馬瀬 功子

自治会役員就任のご挨拶

すがすがしい初夏の風に吹かれ、心弾む季節となりました。松風台在住の皆様方に於かれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

私が松風台に引っ越して来たのは2006年5月の事で、まだ4年の歳月しか経っておりません。幼少期より隣町の香川で育ち、香川小学校、鶴が台中学校で少年期を過ごして参りました。それ故に、私にとっての松風台とは、同窓生の両親が住む町と云うイメージが非常に強く、何軒かのお宅には、少年時分に遊びに行った記憶が残っております。当時の私は、松風台は遊び場所の一部でしか有りませんでした。裏山に登って昆虫採取をしたり、用水路でザリガニ釣りをしたり、周回路で鬼ごっこをしたりと。私の記憶している当時の松風台は、20数年経った今日でも、多少様子を変えてはおりますが、今直面影を残しております。

今年で松風台は創立35周年と伺っております。施工当初よりお住まいの方々にとっては、この35年間の町の変容を実感されている事と存じます。一つ

の住宅地を設立し、自治会や交通網を整え、今日の様な安定した居住環境を整えるに至っては、諸先輩方の只ならぬ功績の賜物と存じ上げます。お恥ずかしい話では有りますが、この度自治会役員を引き受けるに当たり、自治会内の仕組みを色々と勉強させて戴きました。私が一遊び場所として自由に出入りしていた時分より、目に見えない所では松風台在住の皆様が多くの苦労を背負いながら、今日のような環境を整えていたのだと、今更ながらに理解致しました。

私は松風台での生活は浅く、まだまだ新参者の域を脱しておりません。諸先輩方の築き上げてきた地盤を大切にしながら、数十年先まで豊かで住み良い町を維持する為に、今何をすべきかを考えて行動したいと思っております。若輩者故に皆様方にはご迷惑をお掛けする事も多分に御座いますが、今年一年皆様からのご厚情を戴ける様、この場をお借りしてお願い申し上げます。

末筆では有りますが、皆々様の益々のご健勝を祈念致しまして、ご挨拶に代えさせて戴きます。

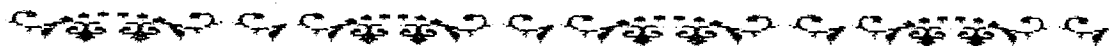
平成22年度 事務局長

菊田 重人

【転出入会員】

番 地	氏 名	転入月

番 地	氏 名	転出月



シニアパワー

松風台は高齢者が多いと聞いて、早速、市のホームページを開いてみた。

今年1月1日で、年令65才以上の人口は689名、総数1,616名のなんと42.6%である。これは市全体の20.8%に比べ倍以上の数であることが分かる。10人集まると4人は65才以上のシニアである。

家が疲れた身体を休めるだけの所であった現役時代の男性にとって、松風台は地域社会ではなく、帰って寝る場所だったと思う。しかしひとたび退職すると、家に家族は居ても、家のある松風台には話し相手も仲間も居ない。ゆとりと趣味だけで過ごすには良いが、その内時間を持て余すことになっていないか。精神的にも肉体的にもまだまだ元気で経験豊富なシニアのパワーを、是非わが街、松風台のために生かして貰いたいと思う。

IT情報化時代、自治会もボランティアグループの協力で、昨年1月ホームページを開設した。街並みの写真から松風台の今昔、自治会の組織、お知らせと、内容も充実されており、松風台のことが良く分かる。「茅ヶ崎市松風台自治会」と入力すれば誰にでも簡単に見られる。わが街を見直して、是非気軽に参加して欲しい。

編集雑感